

ヤマト運輸株式会社

第139期

(平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで)

事業報告書をお届けします。

当社では、企業の社会的責任として環境保護に積極的に取り組んでおります。事業報告書の発送方法につきましても、封筒を使わずに宛名ラベルと開放部のテープのみで送付する環境に配慮した方式を導入しました。株主の皆さまのご理解をいただきたくお願い申し上げます。

CONTENTS

| | |
|---------------------------------------|----|
| 株主の皆さまへ | 1 |
| 事業モデルの劇的な変革を遂げる 「ヤマトグループ新生進化3か年計画」 | 2 |
| トピックス | 5 |
| 社会とともに | 7 |
| 株主の皆さまに聞く | 8 |
| 事業概況(連結) | 9 |
| 連結財務諸表の概要 | 11 |
| 個別財務諸表の概要 | 13 |
| 株式の状況/会社概要/株主メモ/ コーポレートガバナンスの強化 | 14 |

株 主 の 皆 さ ま へ



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成15年度は、厳しい市場環境の中で一段高いサービス品質を確立し、中長期にわたって安定的な成長を遂げるため、グループ事業再編を含む経営改革をスピードをあげて進めてまいりました。とりわけ中核であるデリバリー事業において、日本郵政公社の民営化等に備えて営業力の強化と収益構造の改善を目的とした「再構築計画」に基づき、組織の小集団化による全員経営の促進や事務処理の集約化など、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、営業収益は1兆113億円、前年比4.0%増と、ヤマトグループ初の1兆円を超える営業収益を達成することができましたが、再構築計画およびクロネコメール便の体制強化に伴う投資等により、経常利益は485億円、前期比17.0%の減少となりました。

平成16年度の営業収益は前期比4.3%増の1兆550億円、経常利益は前期比7.1%増の520億円を計画しております。平成16年度は、競争力強化・更なる成長に向けた構造改革を加速させつつ、ヤマトグループ新生進化3か年計画の完遂によって、一層の企業価値の向上を実現してまいり所存です。

なお、当期の利益配当金につきましては、株主還元の強化といたしまして、従来ヤマト運輸の個別当期純利益に基づき算出していた配当性向を連結ベースに改めたことにより、期末配当金を2円増配し、1株当たり10円とさせていただきます。

株主の皆さまには、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

代表取締役社長 山崎 篤